参考資料 5

平成19年度事業評価監視委員会(第1回)資料

ダム等の管理に係るフォローアップ制度の活用における事後評価について

平成 19 年8 月

東 北 地 方 整 備 局

事後評価実施要領及び細目について

H15.3.31 国土交通省事務次官通知　第４　１項（６）

「ダム等の管理に係るフォローアップ制度」の対象となるダム事業において、当該制度に基づいた手続きが行われる場合については、本要領に基づく事後評価の手続きが行われたものと位置付けるものとする。

H16.1.9 国土交通省河川局長通知　第４　１項（４）

実施要領第４．１．（６）の規定に基づき手続きを行った場合には、その結果を事業評価監視委員会に報告するものとする。

東北地方ダム管理フォローアップ委員会規約
（抜粋）

（名称）
第１条　本会は、「東北地方ダム管理フォローアップ委員会」（以下「委員会」という。）と称する。

（目的）
第３条　委員会は、「ダム等の管理に係るフォローアップ制度の実施について」（平成１４年７月２４日国河環第３２号国土交通省河川局長通達）に基づきフォローアップ調査の内容及びその調査結果の分析・評価について審議し、東北地方整備局長に対して意見を述べ、ダム等の適切な管理に資するとともに、ダム等の管理の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図ることを目的とする。

（委員会）
第４条　委員会の委員は、学識経験を有するもので構成され、東北地方整備局長が委嘱する。
２　委員会には委員長をおくこととし、委員長は委員間の互選によってこれを定める。
３　委員長は会務を総理する。
４　委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

（委員会及びモニタリング委員会の意見）
第７条　委員会は、フォローアップ調査の内容及びその調査結果の分析・評価について、委員の意見をとりまとめ、委員会の意見として述べることとする。
２　モニタリング委員会は、モニタリング計画の策定及び調査計画の内容及びモニタリング調査結果の分析について、モニタリング委員会に属する委員及び特別委員の意見をとりまとめ、モニタリング委員会の意見として述べることとする。
３　委員会は、モニタリング委員会の意見をもって、当該ダムに係わるフォローアップ調査についての意見とすることができる。

東北地方ダム管理フォローアップ委員会名簿

役　職	氏　名	備考
日本大学大学院 総合科学研究科 教授	（委員長） 野池 達也	
東京工業大学 総合理工学研究科　教授	石川 忠晴	
秋田大学　名誉教授	小笠原 暠	
岩手大学　名誉教授	小野泰正	
岩手大学 工学部 建設環境工学科　教授	堺 茂樹	
八戸工業大学 環境建設工学科　教授	佐々木 幹夫	
東北大学 文学部　人文社会学科　教授	佐藤 嘉倫	
岩手大学　名誉教授	菅原 亀悦	
福島大学 共生システム理工学類　教授	鈴木 浩	
仙台市科学館　副館長	高取 知男	
日本大学 工学部 土木工学科　教授	中村　玄正	

（順不同・敬称略）

四十四田ダム　ダム湖活用環境整備事業　　事後評価

【ダム湖活用環境整備事業概要】
実施年度　　H9～13年度
事業費　　6．9億円
費用対効果（B/C）　1．11


柳平地区親水護岸利用状況

○ダムサイト地区
水辺テラスの整備（緑地整備、遊歩道等）
○松園水辺公園
水辺園地・自然観察園・船着き場の整備
（親水護岸・遊歩道・駐車場等）
○柳平水辺公園
多目的広場・水辺テラスの整備
（広場、親水護岸、遊歩道、駐車場等）




ダムサイト地区利用状況

○ダム諸元

・形　　式　：コンクリート・アース複合ダム
・堤　　高　：　　50m
・堤 頂 長　：　　480m
・総貯水容量：47,100千m3
・堤 体 積　：コンクリート　290千m3
　　アース　　92千m3
・流域面積　：　1,196　km2

月山ダム建設事業　事後評価

【ダム建設の概要】
実施年度　昭和51年～平成13年度
事業費　　1,687億円
費用対効果（B/C）　　3．1

○位置・立地特性
・山形県鶴岡市（旧　朝日村）
・赤川水系支川梵字川に立地
○ダムの目的
・治水（洪水調節）
・流水の正常な機能の維持
・水道用水の供給（庄内南部地域の
　　鶴岡市、庄内市、三川町）
・発電用水の供給





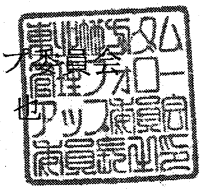
○ダム諸元

・形　式　　：重力式コンクリートダム
・堤　　高：　123m
・堤　頂　長：　393m
・総貯水容量：65,000千m^3
・堤 体 積　：1,160千m^3
・流域面積　：　240 km^2

平成１９年　３月１５日

東北地方整備局長
坪　香　　伸　　殿

東北地方ダム管理フォローアップ委員会
委員長　　野　池　達　也



平成１８年度　東北地方ダム管理フォローアップ委員会について（意見）

標記委員会に提示あった定期報告並びに事後評価に対して、意見をとりまとめたので別紙のとおり提出する。

平成１８年度　東北地方ダム管理フォローアップ委員会

日時：平成１９年３月１５日（木）13:30 ～
場所：仙台ホテル　（仙台駅前）

【審議結果】

１．月山ダム建設事業事後評価
２．月山ダム定期報告

・事後評価については改善措置及び今後の事業評価の必要はない
・定期報告については特に問題ない

３．四十四田ダムダム湖活用環境整備事業事後評価

・改善措置及び今後の事業評価の必要はない

４．鳴子ダム定期報告

・特に問題ない

５．浅瀬石川ダム定期報告

・特に問題ない